
DECADE in Super Sentai World

あづにゃん&ディケイド L O V E

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

DEC A D E i n S u p e r S e n t a i W o r l d

【年代】

20625M

【作者名】

あずこちゃん&ティケイドーロヴ

【あらすじ】

士達は再びライダーのいない世界を旅することになる・・・ガオレンジヤーからセイジャーまでの、ライダーのいない世界で士が見たものとは・・・

第1話 ガオレンジャーの世界（前書き）

初心者なので誤字脱字などあるかもしませんwww

また原作と違つといらや、話し方の違つ方も出でくるかもです。

そのときは「トイケイド特有のパラレル」と思つてください。まあ基本
オリジナルの世界のつもりで書いていきますが・・・

第1話 ガオレンジャーの世界

ここには光~~電~~真館、いつものようにやるべき事を終えた士達は次の世界へ行こうとしていた・・・

士「次は何の世界だ?」

夏海「わかりません・・・世界は9つだけでは無いみたいですし・・・」

コウスケ「きっとまた別なライダーがいるんだよー・どんなのだろうなあ・・・」

士「お前はのん気でいいよな・・・」

コウスケ「何だと!?」

栄次郎「まあまあ、旅ではいろんな仲間達に出会えるからね・・・次に出会える人達も、きっと素敵な人達だよ」

そういうと、栄次郎は背景ロールを下ろす

パアアアアアアアアアアア

士「!?!?・・・・・何だ、この世界?」

背景には數十匹はいる、機械のような動物達の絵が描かれていた・・・

夏海「動物園・・・ですか？」

士「馬鹿・・・そんなとこに行つてどうする・・・」

コウスケ「なんか」の動物達、メカっぽくてカッコイイなあ！」

士「（・・・シンケンジャーの世界の背景と似ているな・・・まさかまたライダーがいない世界か？）よし！ 考えても仕方が無い・・・外へ出るぞ」

栄次郎「皆、いつてらっしゃい」

栄次郎は3人を見送った

ガチャツ

士達は外へ出る・・・が、何やら様子がおかしい・・・

士「・・・・・・ど」「だ・・・」「・・・」

コウスケ「洞窟・・・か？」

何やら一画面で作られたような部屋に出てきてしまった

夏海「なんか・・・今度の世界は異常に狭いですね・・・」

士「そんな訳ないだろ、夏みかん!」どこか出でられるところがあるはずだ・・・」

と、そこでユウスケが何かを見つけた

ユウスケ「おーい！」の水なんだと思う？」

そこには水の貯められたとしても小さな泉のような物があつた

ユウスケは不思議そうに覗き込む

「ああ？ そんなもの放つておけ！ 今はここから出るのが先だ！」

二赤二赤二赤！

急にエヴァスケの覗き込んでいた家の水が二ボーボーとし始めた

ユウスケはひっくりして土の後ろに隠れる

「何でビツてるんだ……まったく……」

夏海「・・・！誰か来ます！！」

士達は急いで物陰に隠れる

タツタツタツタツ

? 「皆……オルグ反応よ……」 うて違う……」の反応は・

・「

真っ白い神秘的な衣装を身に着けた美しい女性がやつてきた

何やらかなり慌てている

タタタタタタタタタ

? 「テトム！…オルグか？」

? 「何だよ…せつかく寝してたのに…

? 「ほりー・シャキッとする…」

? 「おじー…んじゃ行くか…！」

? 「よっしゃ…ネバギバだ！」

? 「皆、準備しろ！」

反対側から慌ただしく、色とりどりの服を着た男女6人組がやつてきた

テトムと呼ばれた女性は、血相を変えて彼らに説明する

テトム「皆、落ち着いて聞いて…」の前にこの泉に「鳴滝」つて人が現れて言ったでしょ…『いづれ世界の破壊者がこの世界に現れる…名はディケイド…この世界も全て破壊される…くれぐれも気をつけるように…』って…ついに来たわ…場所は…嘘？ガオズロックの中だわ…！」

士、夏海、ユウスケ「！」

? 「う、嘘だろ！？ ビ、ビコだ！！」

? 「落ち着けレッドー・・・・・・・そこそこいるんだひ・・・」

銀の服を着た男に、士達はすぐに見破られてしまつた

士「つたくまたか！ 鳴滝のやつ・・・」

ユウスケ「おい・ビツクすんだ士！」

夏海「あ、あの皆さん！ 私達は・・・」

? 「何だ・・・普通の人間じゃないですか！ もっとおぞましい者
だと・・・」

テトム「いいえ・・・鳴滝つて人によると、彼らも姿を変えるら
しいのよ・・・」

ブラック「マジすか！？」

レッド「テトム！ こりじや危険だ、どこか別な場所にガオズロッ
クを！ いくぞ！ イエロー、ブルー、ブラック、ホワイト、シルバー
！」

ガオズロックは速度を上げ、どこかの荒野に着地した

イエロー「ほらー！ 来い！ ！」

ゴウスケ「え？え？ちょっとーー！」

士「おいー離せーー！」

夏海「私達の話を聞いてくださいーー！」

ブルー「あなたも破壊者の仲間ですか・・・残念だなあ」

士達はガオズロックの外につまみ出された

シルバー「お前か！世界の破壊者ってのは・・・」

士「そうは呼ばれてるが・・・お前らが勝手に勘違いしてるだけだ！！」

ゴウスケ「そうだーー士は破壊者なんかじゃないーー！」

レッド「皆ーいくぞー！」

5人『おおーー』

士「話くらい聞けーー！」

6人「ガオアクセスーー！」

6人は携帯のようなものを取り出し、ボタンを押して叫ぶ

6人「ハアーー！」

そして耳にそれを当てながら左手を前に突き出す

6人「*Summon Spirit of the Earth* !！」

6人はそう掛け声を放つ・・・

するとシルバー以外の5人が持つていて、黄色の携帯端末が動物を模した形に、そして人型へと変形した

シルバーもまた違う携帯端末を持つていた

白銀の狼を模していて、5人が持つてているものとは別のタイプのものらしい

それぞれの携帯端末のイメージが装着者に重なり、スーツを形成した

最後にそれぞれの動物達のイメージが顔に重なり、マスクを形成した

ユウスケ「え?」、「これどゆ」とー?」

夏海「まさか・・・」「も・・・」

士「ああ・・・ライダーのいない・・・スーパー戦隊の世界だ・・・」

レッド「灼熱の獅子!..ガオレッド!..」

イエロー「孤高の荒鷺！！ガオイエロー！！！」

ブルー「怒涛の鮫！！ガオブルー！！！」

ブラック「鋼の猛牛！！ガオブラック！！！」

ホワイト「麗しの白虎！！ガオホワイト！！！」

シルバー「閃烈の銀狼！！ガオシルバー！！！」

レッド「命あるといふ・・・正義の雄叫びあり！！百獸戦隊！！！」

6人「ガオレンジャー！！！」

ガオレンジャーと名乗る6人、それぞれのマスクは、ライオン、
鷲、鮫、牛、虎、狼を模している

服の色と、スーツの色がかぶっている

彼らは普段から、自分のカラーで呼ばれているらしい・・・

一種のコードネームのようなものだらうか・・・

ユウスケ「今度はガオレンジャーかあ・・・パワー溢れる感じで
かつこいいなあ・・・」

夏海「感心してる場合じゃないです！！！の人達は私達を破壊者
だと思ってるんですよ！」

?「つーかさつ 僕も混ぜてくれるかい？あいつらのお宝が欲し

いんだ

どこからともなく、海東 大樹がやってきた

士「海東！お前今度は何を盗むつもりだ？」

海東「あいつらの持つてゐる“獸皇剣”と“ガオの宝珠”だ！あれがあれば“パワーアーマル”を呼び出せるんだよ！すげーと思わな
い！？」

士「何のことだかさっぱりだ・・・海東、お前もあこづらを落ち
着かせるの手伝え」

海東「無論どのつもりだよ・・・まあお前はこただくよ。」

ホワイト「あにつも、ティケイドの仲間？」

シルバー「どうやらそうらしいな・・・」

士「行くぞ！ ユウスケ！」

ユウスケ「おうー！」

夏海「士君！ユウスケ！大樹さん！やめてくださいーー！」

士「大丈夫だ夏みかん！少しこいつらの力を見るだけだ」

「あいだでいい。」

士「言わぬくても分かつてゐ——！」

士は腰に『ティケイドライバー』を装着した

それに続きユウスケは腹部にアークルを出現させ、海東は『ティエンドライバー』をクルツとまわしカードを装填する準備をした

3人は一斉に言葉を発する

3人「変身！…！」

士は『ティケイドライバー』にカードを装填、バッклルを回転させる

ユウスケはポーズを決めた後、左腰にあるボタンを押す

海東は『ティエンドライバー』にカードを装填、銃身を前にスライドさせ、トリガーを引く

? K A M E N R I D E D I - E N D ! ! ?

? K A M E N R I D E D I - E N D ! ! ?

ティケイドライバーと『ティエンドライバー』から電子音が鳴り、士と海東の体を変化させた

ユウスケも体が赤く変化した

士はマゼンタを基調とした戦士に、海東はシアンを基調とした戦士に、クウガは赤を基調とした戦士に姿が変わっていた

D C D 「おし！…分かれて戦うぞ！」

クウガ「OK！」

DED「お宝お宝！」

世界の破壊者 仮面ライダー ディケイド

トレジャー・ハンター 仮面ライダー ディエンド

古代の戦士 仮面ライダー クウガ

ライダーが存在するはずのない世界に、3人もライダーが現れた
この世界も悪魔によって破壊される・・・
遠くから見ていた鳴滝はそう呟いた・・・

レッド「ハア！オリヤ！」

DCD「そんなパンチ全然きかねえな！ハッ！」

ドガツ！！

ディケイドは渾身の蹴りを浴びせる

レッド「ならこれならどうだ！ハアアアアア！！！」

レッドは負けじと爪で攻撃する

ズバアー！！ズバアー！！ズシャアアー！！

ディケイドはライドブッカーをソードモードに切り替え反撃する

?ATTACK
RIDE
SLASH!!?

キイイン!! カアアン!!

レッド「あつぶね~、やるな！獣皇剣！！ハツ！！」

アーティストとしての才能を発揮するため、彼は常に新しい音楽スタイルや技術を追求する姿勢が印象的でした。

キン！キン！カーン！！

DCD フン！ そんな短きや届かないぜ！！ ハアツ！！」

ガアアアン！！！

「シナリオを書く...」

レジデンティケイドに弾き飛ばされた

DCD「行くぞ！」

ディケイドはカードを装填する

?FINAL ATACK RIDE DE DE DE D

ディケイドの目前からレッドへ向かつて複数のホログラムカードが現れる

ダダダダダダダダダダダダダダ！！！

ディケイドはものすごい勢いでホログラムの中を突き進む・・・

ライドブッカーにエネルギーが溜まる・・・

エネルギーが溜まり、マゼンタカラーに神々しく輝く剣先がレッドを切り裂く。

ガアアアン！！！

レッド「ライオンファングー！」

DCD 何!?

レッドは才でのところでライオンファングで防いでいた

DVD「ちつーならこれだ！」

? K A M E N R I D E F A I Z ! ! ?

ディケイドの姿がファイズに変わる

?ATTACK
RIDE FAIZSHOT!!?

A
I
Z
!
!
?
F
I
N
A
L

A
T
A
C
C
K

R
I
D
E

F
A

F
A

F
A

F

ファイズショットがティケイドの手に装備され、エネルギーが充填される

レッドもライオンファンで、エネルギーを充填する

D C D ファイズ - セ や あ あ あ あ あ あ あ ! ! ! ! ! ! !

上卷

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0625m/>

DECADE in Super Sentai World

2010年10月10日14時02分発行